

経営改善部門（女性活躍）

鹿児島県長島町 株式会社宮路ファーム
（代表取締役：宮路 優作 氏）



- 経営規模：815頭（生産牛（繁殖牛・子牛）355頭、肥育牛460頭）

（注）数字は令和元年当時のもの

経営展開のポイント

- ・ 両親、経営主夫婦、弟（次男、三男）夫婦で肉用牛の生産から肥育までの一貫経営に取り組み、それぞれ肥育管理、生産管理、粗飼料生産、経理など明確に役割を分担。毎日、開催するミーティングや専門家を交えた経営検討会等で情報を共有化し課題を解決している。
- ・ 先代の頃より補助事業等を有効に活用し、計画的に増頭を進め、着実に規模を拡大。肥育素牛の外部導入割合を低下させコストを軽減。販売先での自社の肉の状態調査を定期的に実施し、肉質向上及び枝肉重量増を目標として取り組んだ結果、5等級率は県平均を大きく上回り、売上げが向上。
- ・ 畜産のICT化にいち早く取り組み、自動哺乳装置や分娩監視装置などの革新技术を積極的に導入して、労働力の削減と作業の効率化を実現。また、丹念な観察により問題のある子牛を素早く発見・分離することによって事故率の低減に取組。
- ・ 地域の特産物である馬鈴薯やサツマイモの栽培農家に対し、自社で製造した良質な堆肥を供給し、循環型農業による耕畜連携を実現。
- ・ 食の安全性に敏感な消費者に信頼されるため、令和元年にGAP認証を取得。
- ・ 経営主の母、妻及び義妹がそれぞれの分野で経営に参画。経営主の母はファームの取締役として農場全体を管理するほか、肥育牛部門にて飼養管理の中核を担い、妻は経営管理から事務処理全般を担当、義妹は、生産牛の飼養管理、人工授精業務に係る事務を担当。
それぞれの女性が責任のある立場で農場運営に携わるモデルケースである。